

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校 令和7年10月6日



学校
HPは



☆オープンスクールへのご来校ありがとうございました

9月24日(水)はオープンスクール。保護者の方々に学校での子どもたちの授業の様子をみていただきました。午後からはPTA文教部主催の教育講演会を開催しました。宮下栄養教諭による学校給食についての話を聞いた後、教職員と保護者の方々と、グループにわかれて懇談しました。食の大切さについて考えるひとときとなりました。



☆全国学力・学習状況調査～結果と分析～

4月17日(木)に6年生が「全国学力・学習状況調査」(国語・算数・理科)を実施しました。この調査は、子どもたち一人ひとりの学力の定着状況を確認するとともに、今後の指導方法の改善に役立てるものです。本校は、「夢と志をもち、自ら学び、なかまと共に生きる子どもの育成」を学校教育目標とし、児童の主体性の向上をめざしています。本校の調査結果と分析ができましたので、以下の通りお知らせいたします。調査問題については、文部科学省H.Pからご覧になれます。

1. 今年度の学力調査からみられる本校児童の特徴

・数値は、本校、三重県(県)と全国(国)のそれぞれの平均正答率です。

《国語科》本校 68% (県66%・国66.8%)

【強み】

- ・「図・表等を用い、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」 80.7% (県79.8% 国81.8%)
- ・「時間的な順序や事柄の順序などを考え、内容の大体をとらえる」 83.1% (県81.2% 国81.6%)
- ・「時間の経過による言葉の変化や世代の言葉の違いに気づく」 80.7% (県79.7% 国81.2%)

【弱み】

- ・「目的に応じて文章と図表等を結びつけ、必要な情報を見つける」 41.0% (県39.4% 国40.8%)
- ・「事実と感想、意見等の関係をおさえ、文章全体の構成と要旨をとらえる」
50.6% (県48.3% 国51.3%)
- ・「目的・意図に応じて日常生活から話題を決め、事実を関係づける等、伝え合う内容を検討する」
57.8% (県52.2% 国53.3%)

○文章や資料の内容などについて読み取ることや、言葉の特徴や使い方について、おおむね理解できています。また、文章について、整理された資料や会話文について、その記述の目的や意図をとらえること、与えられた資料の要点を活用し、条件に応じて文章にまとめたりすることなどが苦手です。

《算数科》 本校 63% (県 57% ・ 国 58%)

【強み】

- ・「棒グラフから、項目と項目の関係をよみとる」 89.3% (県 87.8% 国 88.5%)
- ・「平行四辺形の性質からコンパスを用いて平行四辺形を作図する」 77.4% (県 60.4% 国 58.%)
- ・「伴って変わる2つの数量関係から必要な数量を考える」 84.5% (県 81.1% 国 82.8%)

【弱み】

- ・「提示された四角形の中から、台形を3つ選ぶ」 54.8% (県 44.9% 国 50.2%)
- ・「数直線上に示された数を単位分数であらわす」 33.3% (県 36.7% 国 35.0%)
- ・「目的に応じてグラフを選択し、理由を言葉や数を用いてかく」 46.4% (県 31.6% 国 31.0%)

○グラフ・表などの資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に、表したり計算したりすることについて理解できていました。数と計算や図形の領域で、思考力をみる問題について課題がみられます。求め方や考えた理由を条件にそって説明することが苦手です。

《理科》 本校 58% (県 56% ・ 国 57.1%)

【強み】

- ・「粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、土や水の量を設定し、実験方法を発想・表現する」 90.5% (県 78.4% 国 79.5%)
- ・「電流が作る磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身についている」 75.0% (県 77.4% 国 78.0%)
- ・「へちまの花のつくりや受粉についての知識が身についている」 77.4% (県 68.0% 国 70.7%)
- ・「陸から海への水の流れについて、水の行方と関連づけて考える」 66.7% (県 60.5% 国 60.%)

【弱み】

- ・「種子の発芽の条件について、新たな問題を見出し表現できる」 45.2% (県 29.0% 国 29.9%)
- ・「電気の回路の作り方について、実験方法を発想し、表現する」 32.1% (県 40.6% 国 42.9%)
- ・「水の温まり方について、問題のまとめ方を解決するための観察、実験の方法を検討し、表現する」 45.2% (県 52.3% 国 50.6%)

○理科のどの領域についても基礎的な知識について、おおむね理解できていました。一方、既習事項を活用した実験やその結果について、今までの知識をもとに、論理的に考えることが難しかったようです。また、様々な資料から、必要な情報を取り出し、知識をもとに判断したり、適切に表現したりすることに課題がみられました。

各教科の授業で、学習したことをまとめたり、自分の学びをふりかえったりする活動を取り入れていきます。情報の中から、目的に応じて要点を適切にとらえ、既習事項と要点を活用し条件に即して再構築するなどの力の育成できるよう、取り組みます。「やってみたい」、「なぜだろう」と子どもたちが興味・関心をもてる課題提示の工夫と学び方を意識した授業改善を進めます。

2. 今年度の児童質問紙からみられる特徴（学習・生活の状況に関して）

・「国語の授業内容はよくわかる」は87.6%、同じ質問で、算数87%・理科93.8%でした。

・「友だちとの話し合う活動を通して、考えを深めたり新たな考えに気づいたりする」92.6%

・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」

85.2%（全国平均より4.9%↑）

・「タブレットなどのICT機器を活用することで、友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなる」

91.3%（全国平均より6.7%↑）

○落ち着いた授業態度で学校生活を送っており、課題にも真面目に取り組める本校の児童です。

協働的な学習活動で、友だちとの対話を通して深い学びの実現をめざしています。知識・技能の定着とともに、意欲・向上心・自制心などの非認知能力についても育成をめざし指導・支援していきます。

・「自分にはよいところがある」

88.9%（全国平均より2.0%↑）

・「先生は、あなたの良いところを認めてくれている」

92.6%（全国より0.4%↑）

・「人が困っているときは進んで助けている」

93.9%（全国より0.2%↑）

・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」96.2%（全国より1%↓）

○学校がどの子にとっても、居心地のよい場所となるように、心理的安全性の確保に努めます。なかまづくりの取り組みを進めています。今後も、一人ひとりの子どもたちのがんばりやよさを子ども自身が意識できるよう、さらに指導・支援を続けていきます。

・「人の役に立つ人間になりたいと思う」

98.7%（全国より2.3%↑）

・「地域や社会をよくするために何かしてみたい」

87.6%（全国より6.3%↑）

・「将来の夢や目標をもっている」

87.6%（全国より4.5%↑）

○学校と家庭、そして地域から「認められている」、「見守られている」と安心感をもてることが、子どもたちの自己肯定感を育てていきます。その肯定感は「さらによくなろう」「やってみよう」と将来への意欲にもつながり、生きる力となります。学習でえた知識と、その解決方法をふりかえり、身に付けられるよう、授業改善に取り組めます。

～おわりに～

今年度の学力調査では、国語・算数・理科ともに、全国や三重県平均よりも上回る結果となりました。

基礎的な知識・技能について安定した力がついていること、そして課題である思考・判断・表現につ

いては、少しずつではありますが、授業改善の成果が見られてきています。引き続き、羽津地区の小・

中学校や保育園、幼稚園と連携し、地域の児童・生徒について共通課題を持って指導しています。

今後とも本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。